

た か だ こ ら む

溶接構造シンポジウム 2023

溶接構造シンポジウムは、1991年の第1回開催よりほぼ隔年に開催され、今回が14回目である。昨年11月28日（火）・29日（水）に大阪大学の銀杏会館で、「カーボンニュートラル社会を担う溶接構造化技術」をテーマとした特別講演、ならびに多くの技術者や研究者による講演が行われた。また、現地開催ということもあり、活発な意見交換や技術交流が行われた。本シンポジウムでは、九州工業大学との共同研究講座（プラントライフサイクルエンジニアリング講座）から2件、当社から3件の計5件の執筆・講演を行った。

（著者：敬称略，講演者：アンダーライン）

- (1) トーチ軌道の類似性評価法およびビード形状との関係性の考察
堀尾 恵一，福岡 竜弥（九州工業大学），渡邊 彰吾（技術統括部），中野 正大*（九州工業大学）
- (2) レーザ変位計による溶接ビード形状の自動判定技術と再現技術
渡邊 彰吾，小出 鷹史（技術統括部），中野 正大*（九州工業大学）
- (3) 二相ステンレス鋼の溶接部におよぼす溶接補修の影響
中野 正大*，山口 ちひろ（技術統括部）
- (4) 二相ステンレス鋼の溶接施工の実際 ～ ティグ溶接の留意点 ～
中野 正大*，山口 ちひろ（技術統括部）
- (5) 圧力設備の肉盛溶接補修
津野 和裕（レイズネクスト），中野 正大*（技術統括部），南 二三吉（大阪大学）



中野 正大*（技術統括部）